

## 第 4 回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 15 年 2 月 19 日 午後 6 時  
場 所 中央図書館 4 階会議室  
出席委員 小池 滋 河北祐子 齊藤 洋 佐治俊彦  
浜 俊子 藤井佐和子 山崎三省 山本ふみこ

### 議題

前回会議要録の確認

発言趣旨と若干違うとの指摘があり、1 箇所表現を改めた。

武蔵野市立図書館の運営について

- ・ 図書館利用実態調査（アンケート）案の検討
- ・ 選書部会中間まとめについて

主な発言要旨は以下のとおり

図書館利用実態調査（アンケート）案の検討

委員長 委員会を開会する。事前に配布されているアンケート案の内容について意見をお伺いしたい。

委員 この調査は、来館者を対象とするのか。来館者以外に広くアンケートをとることはできないか。

事務局 来館者を対象としている。来館者以外を含めた調査となると調査表を郵送で送付・回収等を行わなければならない、予算的にできない。

委員 このアンケートの項目作成にあたって、何か参考にしたものはあるのか。

事務局 以前、中央図書館建設に際し実施した市民意識調査と都立図書館が行っている利用者アンケートを一部参考とした。また、選択肢の項目の表現等については、毎日新聞が行っている読書調査も参考とした。

委員 調査数の予定はどれくらいで、いつどのように配布する予定か。

事務局 有効回答数 1200 件を目標とし、3 館で平日昼間、平日夜間、土日という 3 つの曜日・時間帯でできるだけ偏りがないような形で調査を行いたいと考えている。

委員 アンケートの趣旨を知ってもらい、広く協力を求めるためにアンケートを行うことを市報等に掲載してはどうか。

事務局 市報は締切があり今からでは無理だが、図書館のホームページには掲載できるので掲載したい。

委員 対象が 12 歳以上になっているが、難しい字にふりがなをふる等のちょっとした工夫をすれば子どもにも答えられる内容だ。小学生も対象としてはどうか。

委員 問 3 の男女を聞く問いは、特別に意図する調査目的があるのか。もしないのなら

必要ないのではないか。

- 委員 問4には、ごくたまにしか利用しない人の選択肢がない。入れるべきではないか。
- 委員 問6は、平日、土、日曜・祝日ごとに時間帯を聞くのではなく、まず利用の曜日を聞き、その上で時間帯を聞いたほうがすっきりとした設問になるのではないか。
- 委員 問7を聞く必要があるのか。どの図書館でとったアンケートかを図書館側がとれば、この項目は削除できるのではないか。
- 委員 問8はどのような意図で設けた設問で、必要性があるのか。
- 事務局 本市の図書館利用者が、他にどんな図書館を利用しているか、協力貸出をしている市なども含めて見たいので、この項目は残したい。
- 委員 問11の「ベストセラーや話題の新刊書」と「小説・文芸書」をあえて分ける必要があるのか。
- 事務局 ここではジャンルということではなく、利用の傾向を見たいと考えているので、あえて分けた項目にしておきたい。
- 委員 問11のようなとらえ方も大事だが、今後の蔵書構成を考える上で、十進分類表に基づいた利用度調査も必要だ。
- 委員 障害者への配慮等の項目がないが、入れるべきではないか。
- 事務局 高齢者・障害者を対象としたバリアフリーへの満足度について問14に項目を加えたい。
- 委員 問14の「どちらともいえない」と「わからない」の区別がつきにくいのではないか。
- 委員 「わからない」の中には、利用しないあるいはそのことを知らないということのほか、回答拒否も含まれる。設問の状況から見て「どちらともいえない」との区別はつくのではないか。
- 委員 5段階評価として分りやすくするため、満足を5、不満を1とする番号付けをし、分らないは0にすれば、よりわかりやすくなるのではないか。
- 委員 問14の「蔵書構成・冊数」は「種類・冊数」の方がわかりやすい。ほかにも「レベルアップ」「レファレンス」「検索用端末」等、一般の人にはなじみのない表現は、分りやすい表現に変えた方がいい。
- 委員 問15の6、外国語の充実の項目については、充実してほしい言語も聞く設問にしてはどうか。

#### 選書部会中間まとめについて

選書部会長より、「全体として問題点の指摘に終わっているので中間報告ではなく中間まとめとした。出せる結論は出していかなければならないが、今はまだそのプロセスである。ただ、ひとつおりの問題点を拾い上げることができたので、中間まとめをまとめた。」として資料の説明があり、その後、若干の質疑がなされた。

- 委員 12項目の中の数字を見ると、当年度総購入数13,036点のうち5年間貸出ゼロの

書籍が 196 点となっている。この文中ではその後の年度の分も含めて「問題なしとは言えない」と言っているが、この程度の数字はやむを得ないのではないか。むしろいい選書をしているといってもいいのではないか。

委員 率という点では図書館がいい選書をしていると思うが、添付資料 の内容を見ると、一部の外国語図書や全集に偏っている傾向も読み取れる。それらを見ると今後見直す余地があるのではないかと感じる。

委員長 今日は時間がないのでこの程度にしたい。この件については、今後も引き続き選書部会で検討していただきたい。

以上の協議の後、次回日程は、平成 15 年 5 月 21 日（水） 18：00～ と決まった。